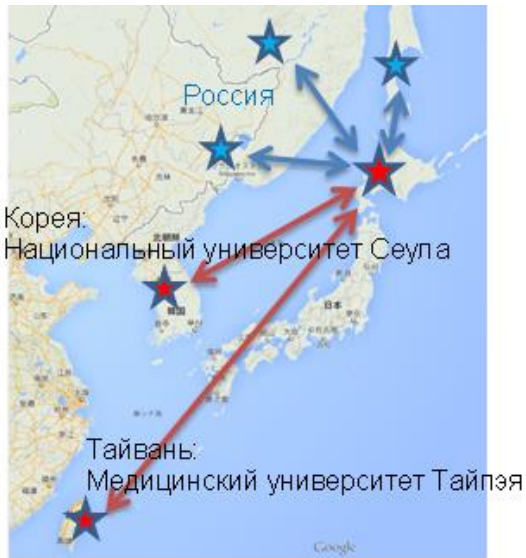


北海道大学病院極東医療ミッションとして、ロシア極東3地域を訪問



北海道大学病院は、ロシア極東地域の医療機関等との連携促進を目的として、ロシア極東地域へ本院国際医療部、経済産業省北海道経済産業局、北海道、北海道銀行などから組織された代表団を2014年10月19日（日）～10月25日（土）の日程でウラジオストク、ハバロフスク及びユジノサハリンスクに派遣しました。

本ミッションでは、ロシアの医療施設の視察や現地医師との意見交換を行い、寶金病院長から陽子線治療センターの紹介、豊嶋教授から本院の先進的な医療や国際化構想の今後の展開などについて紹介されました。

また、ハバロフスク地方腫瘍センター、極東連邦大学メディカルセンターでは交流協定締結に向けた議事録への署名を、国立極東総合医科大学では国際交流協定が締結され、医師や学生、研究者等の国際的な学术交流を進めていくことで双方が合意しました。

今後は、人材交流を進め、将来的には、ロシア極東で治療が難しい患者を北海道大学病院に受け入れる体制を整える予定です。

